

ゆきすけ作品集 8

投稿まとめ
さよなら

DOJIN
R18G
成人向け



ゆきすけ作品集 8

投稿まとめ

さよなら

P04 さよなら

P05 カスミソウ

P06 すぐに自害しようとする生徒会長の見守り係を命じられたのですが 1

p07 すぐに自害しようとする生徒会長の見守り係を命じられたのですが 2

P08 乗っ取り

P09 うそつき

P10 哀れなネズミ

P11 天使

P12 狂宴

P13 醜態

P14 ハンティング

P15 死ぬので見ていてください、興奮するので

P16 学校の怪談 1

P17 学校の怪談 2

P18 リョナラーの僕が時間停止の時計を手に入れた件 1

P19 リョナラーの僕が時間停止の時計を手に入れた件 2

p20 職業：非常食

p21 ゲームオーバー

p22 Lv.1

p23 痛恨の一撃

p24 威厳

P25 あとがき

さよなら

はあ、はあ、はあ

卒業おめでとう、玲奈
卒業おめでとう、聡美

よく顔見せて

玲奈こそ、汗かいてる

ちゅーしよ

うん、最後の、ね

うん、む、あむ

ちゅっ、ちゅっ

(持った?)
(持つてるよ)

(どくどくしてる)
(玲奈だって)

(一緒にいこうね)
(うん、一緒に)

ちゅっ、ちゅるっ
むぐっ、ちゅっちゅっ

(はあ、はあ、いくよ、んっ!)
(はあ、はあ、いくよ、んっ!)



遺書

令和三年三月二十一日

人見玲奈、藤崎聡美

私達二人は、二人の一番好きな桜の木
の下で、あの世に旅立ちます。

私達二人は、この世では結ばれない事
を悟りました。

結ばれない運命なのであれば、この世
に居る意味はありません。

さよなら、お父さんお母さん

さよなら、先生

さよなら、クラスみんな

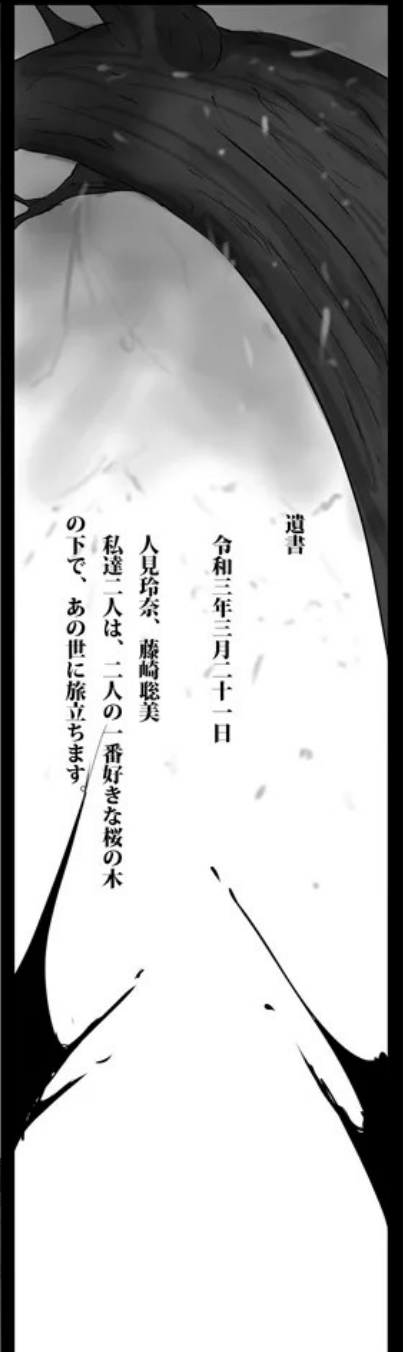
さよなら、塾の先生

さよなら、塾のみんな

さよなら

私達二人は、あの世で結婚し、幸せに
暮らすことを誓います。

人見 玲奈
藤崎 聡美





カスミソウ

ねえねえひとちゃん
なあに、かすみちゃん

ここ、私の一番好きな場所なんだっ
わく、立派な木だね

この木の下に咲く花がね、カスミソウっていうの
香澄ちゃんの名前だ！

ねえひとちゃん、大切な時は、ここに集合しよっ



6月13日・・・あれから何年経つだろう
子供の頃、カスミソウの咲くこの木の下で、私
は香澄と約束した。

大切な時は、必ずここに集合、嬉しいこと
があっても、嫌なことがあっても――

中学に入っても、高校に入っても、大人になっ
ても、おばあちゃんになっても・・・

この木の下で香澄と、楽しく笑っていられると
思っていた。

香澄、私、頑張ってるよ



うそ...
香澄...

いや...
香澄...いや...

う...うそ...
うそ...

澄...?

すぐに自害しようとする生徒会長の 見守り係を命じられたのですが

「本番しよ」いつもと違った、凛とした声・・・思い詰めた声・・・私は悟った今日が、本番なのだ。

会長は事あるごとに自害しようとする。プリントを無くしたとか、全校集会で恥をかいたとか、そんなことで。生徒会のみんなはそんな会長の面倒を見るのに疲れ切っていた。そこで、新しく生徒会に入室した私に自羽の矢が立ったのだ。

私も最初は会長の自害を止めることばかりに腐心してきた。しかしある日、転機が起こったのだ。



「そ、そうだ会長、会長の非力な腕で、腹を切れるんですか？」

「う・・・それは・・・多分大丈夫だと・・・」

「だったら！腹を切れるように練習しまし
よう！一人前になってから改めて腹を切る
・・・うん、それがいいですよ！」

「・・・確かに、そうかもしれないわね」

その日から、私と生徒会長との不思議な
逢瀬が始まった。私はこの不思議な練習に
エキスタシイを感じるようになっていた。
この日々が終わらないことを願った・・・



会長の、息遣いを感じる。
やはり何度練習しても本番は緊張するものだ。

私達はここで、何度となくこの目のために練習
を重ねてきた。回数を重ねることに、お互いの息
が段々と合っていく。

練習の最後、私がかの首を落とす瞬間は、い
つしかお互いに、得も言われぬ高揚感を感じるよ
うになっていた・・・

「今日は、寸止めじゃないよ・・・うぐっ」

会長の手元の短刀が腹部に吸い込まれる。衝撃
で背中がビクンと緊張する。

息もつかず、短刀を思い切り右へ曳き回す。練
習通りだ。息をすると腹部が動き、切りにくくな
ってしまっ。

二十秒程かけて、会長は腹を横一文字に切り裂
いた。



曳き切って初めて、会長は息を吸い込んだ。
ぐぼっと水気のある音がする。小腸がせり出したのだ。
会長の体が大きくうねる。苦しいのだろう。
しかし、左手が腹部に伸びたと思った瞬間、紐のような小腸をつかみ一気に前方へ引き出す。

「会長、お見事です」私は会長に賛辞の言葉を贈った。世話係としてではなく、二ノ宮明美として、女として。

一通り作法が終わったら、苦しみが続く前に合図があるはずだった……しかし……声も出せないのだろう。

……大丈夫、その場合の練習もしていた



会長はするい。
私をこんな体にしておいて、一人でいこうだなんて。
貴方は生きて、だなんて。

見てる？会長

会長の練習する姿を見てたら私もこんなに上手く切れるようになったんですよ。

一人でいくなんて私が認めません。
会長が天国でまたいつ自害したくなるか分からないでしょう。

その時、見守り係の私がいなかったら、どうするつもりですか。

会長の首を一番上手く落とせるのは私しかないんですから。

乗っ取り

ゆうき君の愛を受けるあの女が憎い
あの女がいなければ、ゆうき君は私を愛していた
かもしれない

いや、あの女がいなくても、ゆうき君は私を愛し
てくれないかもしれない
私がゆうき君に愛してもらうには・・・

そうか・・・

あの女を乗っ取ればいいんだ



「ごめ〜ん
遅くなっちゃった
先生にプリント作成
手伝わされてさあ」



どうしたの？
ねえ、私だよ、
すずだよ

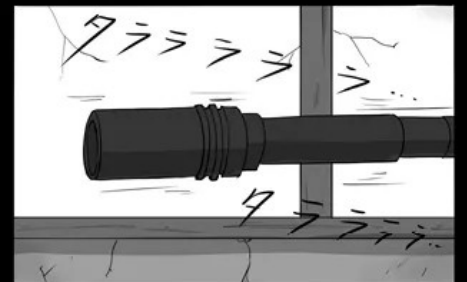
「...ねえ、
...どうしたの？
私だよ、
すずだよ」

昨日も「昨日もニニで
したよわ、みんな帰る後に
昨日なんかゆうき、コンドーム
もくれたさあ
め、も笑ったよ♡」

いつものように……
すずを可愛くして



もう準備してさっさと♡
ゆうき、おっほい好き
だもんね、
どう？どう？

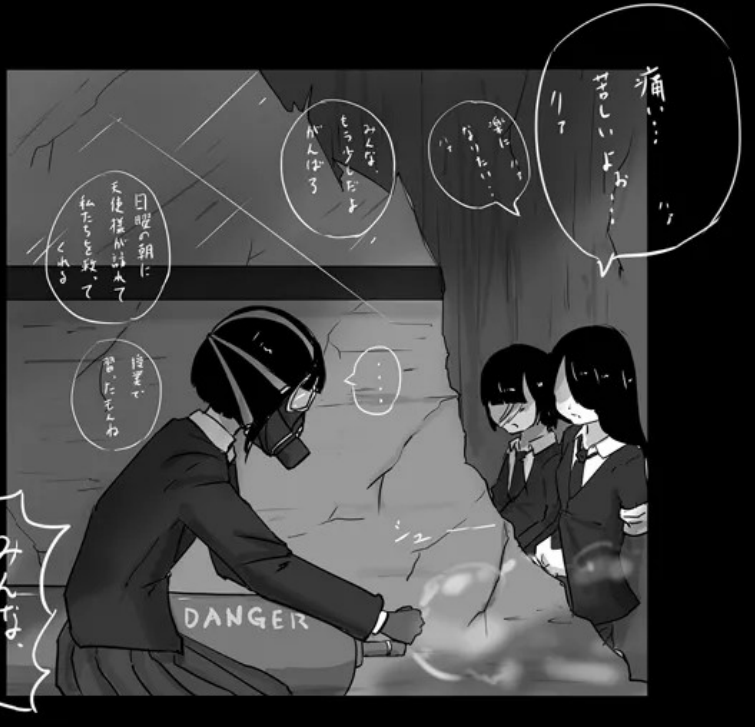


哀れなネズミ

「猫はネズミを殺す前に、いたぶって弄んでから殺すだろ？ 残酷だと思っよな？でもな・・・」

一度その味を知ってしまったと、忘れられなくなるんだよ 密の味ってやつだ

これから死ぬネズミが、生きようと必死に哀願する・・・ それを、いたぶって・・・殺す・・・この戦場には、哀れなネズミちゃんがたくさんいるからなあ、やめられねえぜ」



痛……
ささいいよお……
……

みんな、
もうケレトよ
かんばろ

日曜の朝に
天使様が話して
私たちを救って
くまろ

……
……

みんな、
外見て!!

天使

これは委員長にだけ与えられた任務だ、他言しないように

委員長も授業で習っただろう、毎週日曜日の朝に

「天使」が訪れると

これが何だかわかるかね？

……毒ガスP.S.306、通称「天使」

これを吸うと、まるで天使に包まれたかのような
幸福感を感じながら、天に召されることが出来る

委員長の役目は、回復の見込みのない負傷兵を隔離し
日曜の朝に「天使」を散布すること——



残酷だと思っつかね？

天使様だ!!

天使様!!
私達を

私達を

救って下さい

あら!!
天使様!!

私にも
見えてる!!

同胞を殺すことになる——



そして彼女達は見るのだ……本当の天使を

勘違いするな、これは慈悲だ
負傷兵達は死よりも辛い痛みに苦しんでいる
彼女たちは授業の内容を思い出し、日曜の朝を待ち望むようにやる



はあ、はあ……
 な、何、この肉片
 か、人たちの……？
 まさか……

あ……スマホが
 落ちてる……
 動画……？ホチッ



00:00:05
 まーす！！
 ビクビク
 エンタウ
 してる！

狂宴

はあ、はあ、はあ……

「菜緒子、お願い、生きてて……！」

「クリア！」「クリア！」「突入！！」

ガラッ

「う……何、この肉片……」

ま、まさか……あ……スマホが落ちてる……」

みんな集合～

使い道のない捕虜を処分しま～す

本日の処刑方法は斬首で～す！ビクンビクン踊るの楽しみだね～、動画撮っちゃおうか！わくわく！

じゃあいつま～す！え～と、名前なんだっけ？まあいいや、さよなら～

「や、やめ……殺さないで

嫌、いやあああ！くひゅっ！？！？」

ワーワー！キャーキャー！！

「な……お……

う、うそ……っあああああああ……

……！！！！！！」



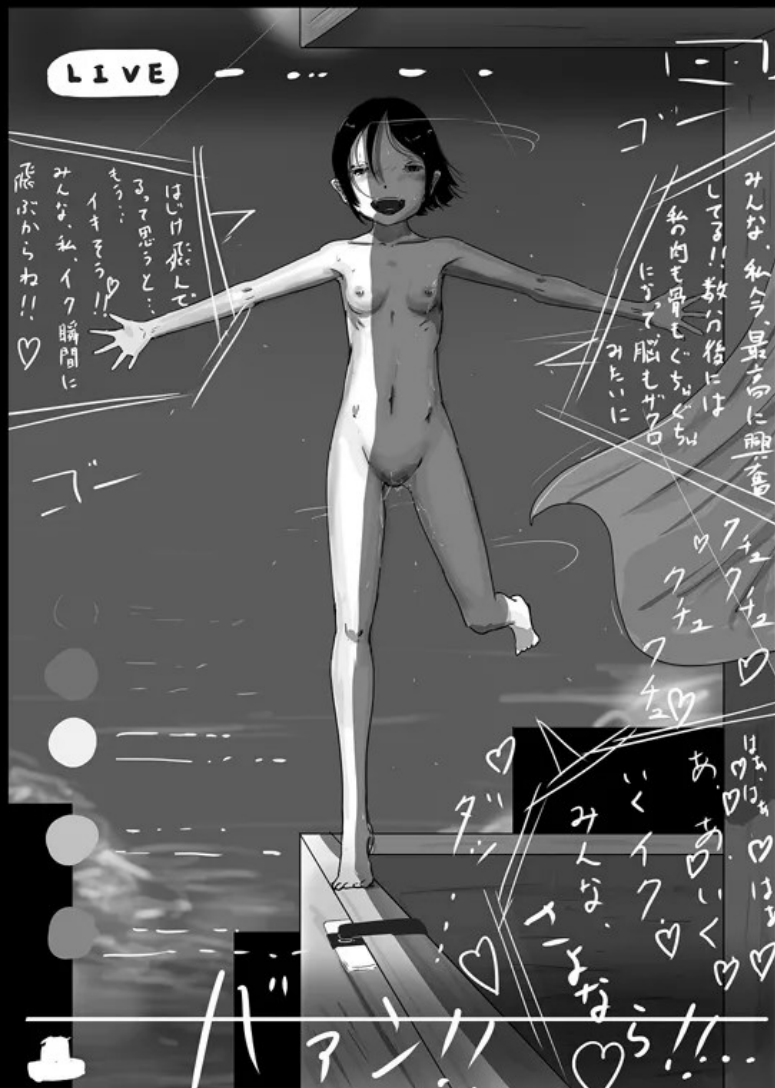
死ぬので見ていてください、興奮するので

【紫苑】

…こんばんわ～
 あ、ノックさん、アリさん、こんばんは
 あの、今日は、死にます
 ここ樹海なんですけど…凄いや…ゾクゾクしてて…
 みんな、見ててください
 私が苦しんで…最期の瞳孔が開く瞬間とか…腐って
 いく過程とか…
 …私、凄く興奮するの

【白夜】

…やっほー、見える？ 白夜の配信始めます
 今日、お父さんもお母さんも仕事で兄貴は部活に行
 ってるから、私一人なの
 夏休みになってからずっとこの時を待ってたんだ
 だから…今日、やります！
 …言っちゃった、すっごい興奮する！！
 この前の紫苑さんの配信見ながら、もう私、何
 度もイっちゃって…！最高だったじゃん！？
 ———ガラッ
 あ～！最高！いい天気！！
 ちょっとカメラセットするね…
 っと、見える？…よし、登るね！、よいしょ…
 と… あっ…あっあっ…♡♡ ねえ…！
 ねえ、みんな！（ときどき♡）





学校の怪談

「ねえねえ、理科室に人体模型あるじゃん模型的体を隠して24時間以内に元に戻さないと、隠した部分を埋めるために、体を裂かれて持っていかれちゃうんだって」

「嘘くさ～、じゃあさ、明日のプールの後にこっそり校舎に忍び込んで、試してみようよ」

「うん賛成！佳織も来るよね！」
「え～やめようよ、もし本当だったら…」

「…やっぱりただの模型じゃん」
「つまんね、帰ろ～」
「え？みんな、元に戻さないの？ねえ！」

タタタ…

「アサヒ…チャン…ナイゾウ…
ナミ…チャン…カワ…
カオリ…チャン…ノウミソ…
カエシテ…カエシテ…」



リョナラーの僕が時間停止の時計を手に入れた件



「おい藤田、こっち見てんじゃねえよ」
僕の名前は藤田康介、都内の高校に通う普通の男子高校生だ。こいつは八坂瞳、僕を虐めるメス豚。

「今日は1,000円しか持ってないのかよ、しけてんな〜、明日は1万円持ってこいよ」
恐喝、暴力の毎日。このメス豚がいなければ、と何度思ったことか。



そんな僕には密かな趣味があった。いわゆるリョナというやつだ。女の子がひどい目にあう姿に興奮する。腹を割かれ、無残な姿で死にたくないと思願する。メス豚ビッチはそういう目に合うのがお似合いなんだ。

ある日の登校中、家の近くのゴミ捨て場に不思議なものが捨ててあることに気付いた。

「時間を止める時計…？」
時間停止もののAVがあるというのは聞いたことがある。だがそれは当然演技、本当に時間が止まるわけではない。

半信半疑というよりも、ほとんど信じていなかった…が、もしこれで時間が止まるなら、と僕は考えていた。あのビッチを無残な姿に変えることができるのに…

そう思いながら、僕は時計のボタンを押した。





職業：非常食

—10年前

「そこのご一行さん、これから魔王討伐の旅ですかい？
いざという時のために非常食を連れてった方がいいですぜ
人間の非常食は、動物と違って普段は小間使いさせておけるんで
役に立ちますぜ、おいルカ！」



「はじめまして、ルカ・リヴェールです、はちねんもの？です
あ、あの、ひじょうしょく？です」

—それからの日々は、私の宝物だ
勇者様達は、非常食の私を“人”として扱ってくれた
辛いこともあったけど、とても楽しい、充実した日々だった
差し出がましい願いだけど・・・
この日々が、永遠に続けばいい、と、思った・・・



勇者様達と
過ごした冒険の日は
ルカの宝物です...
処置の方法は、体の文字を読んで
しかり行って下さいね

私の名前はルカ・リヴェール...
それが、うれしいです...
非常食がいた事... 覚えていて
それでは... ようなら

しかり処理しないと臭みが残り
王様から、できれば美味しく
人良べてほしいな... 喜んで
それでは... 痛み
止めの魔法を...

ゲームオーバー

「おい！あそこに何か転がってるぞ！」

「うわっ！こりゃひでえ、食い散らかされてぐちゃぐちゃだ・・・人というより肉の塊だなこりゃ」

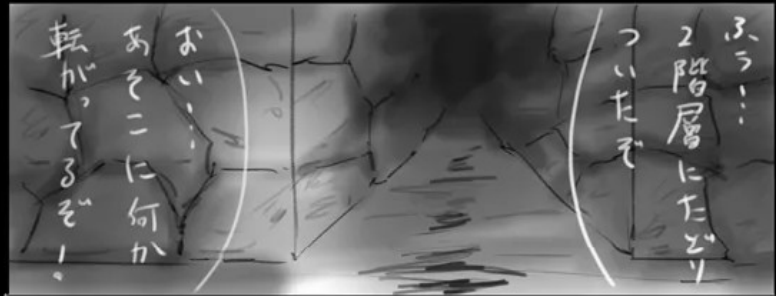
「これあれだろ？昨日パブで、絶対ダンジョンを攻略して見せるって息巻いてた娘だろ？」

「結構いい女だったんだけどな、いい女もこうなったら只の肉だなあ・・・」

とりえずネックレスと、腕輪は使えそうだな・・・よし、じゃあ行こう！」

「昨日夜這いでもして抱いとけばよかったな、がはは」

「おいおいあれ見てからじゃ萎えるぜ～」





Lv.1

「父上、母上、村の皆さん…行って参ります!
必ずや、魔王の首を取って帰ってきます!!」

「…ふんふ～ん、まずは隣町まで行って、仲間を探そう
これから私の冒険物語が始まるんだ!」

魔女YUKI (Lv.78)



「勇者狩りに来たものの、暇だな～
勇者と雨後の筈は腐るほどあるってね! ははは
あ、あそこに良い獲物が!」

「あら可愛いお嬢ちゃん
どの装備も安物の新品…ふ～ん
簡単に負けちゃいそう♡
さくっと奪っちゃおっかな、命♡」 ガサッ





お兄さん!!
晩飯に人間の
メス肉はどうだい?
新鮮だよ!

お兄さん!!

お兄さん!!

SALE
HUMAN FEMALE
JOB: sword Fighter

お、青月種の
メスか、確かにアツアツ
鳴いてるな! 鮮度が
落ちると鳴かなくなる
もんか

威厳

「こんな恥辱を受けるくらいなら、死んだ方がましだ…」
「私は誇り高き剣士…死は恐れん、殺せ…」
「恥よりも死を選ぶ、それが我が一族の気高き掟…」
「殺せ…殺すのだ…」
「なんかぶつぶつ言ってるなこの肉、新鮮な証だな!」
「なんて言ってるんですかね」
「まあ美味しければ肉の考えてることなんてどうでもいいがな
ガハハ」

あとがき

この度は、ゆきすけ作品集8『さよなら』をお買い上げいただき、ありがとうございます！

今回は主に、投稿した1枚絵にコマを足してストーリーを補完する方式で作成しました。やはり何コマかあると世界観がより明確になって良いですね！お気に入り「天使」です、1枚絵では表現しきれなかった部分が描けて満足です。

今回のテーマは「さよなら」、元々は百合心中もので一冊描ければ良いなと思ってストックしていたタイトルなんですけど、そんな根気もないので、前半はできるだけテーマに沿ったイラストを集め、後半は最近結構ハマっているファンタジー世界ものを集めてみました。

お楽しみ頂けたら幸いです。

2021年11月13日

サークル雪見堂 ゆきすけ





サークル 雪見堂

注意事項

18歳未満の方の購入・閲覧を禁じます。
無断転載・無断転売を禁じます。

『ゆきすけ作品集8 さよなら』

作 ゆきすけ
PixivID 909381
Twitter @yukisuke_gt
Mail yukisuke_gt@yahoo.co.jp
発行日 2021/11/13(土)

印刷所 ねこのしっぽ 様

『ゆきすけ作品集8 さよなら』

雪見堂

presented by yukisuke

!! WARNING !!

この同人誌には、残虐描写しかありません。

This book has only cruel depictions.

2021 yukisuke all rights reserved.